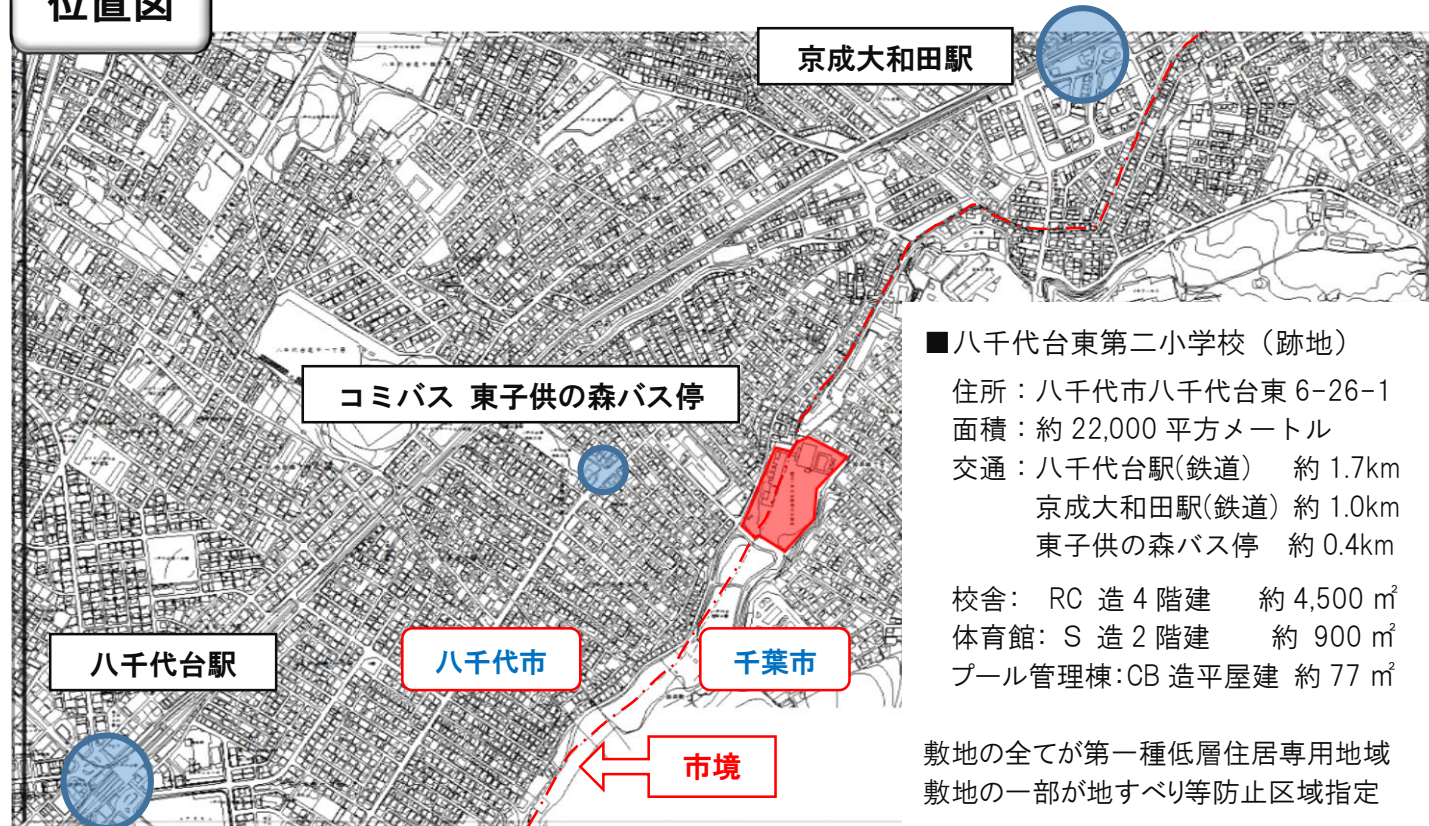


位置図



検討経緯



- ・昭和 52 年 8 月
児童数増加に伴い八千代台東第二小学校が開校
- ↓
- ・平成 25 年 4 月
八千代台東小学校と八千代台東第二小学校が統合
- ・平成 27 年 3 月
八千代台東小学校に完全移転し、学校施設としての役割を終える。

まちの成熟とともに少子高齢化が進む

・平成 29 年度

公共施設再配置等推進委員会において、「更地にして広場（体育館の有無については、今後、地域との協議において決定する）」との方向性を示す。

・平成 30 年度

日大岡田教授等の支援を受け、地域住民を主体としたワークショップを開催し、①維持管理(地域組織が運営)、②災害への対応、③平時の活用、に重点を置いた「導入機能の絞り込み」「施設配置案」を取りまとめ、跡地整備基本計画を策定した。



●計画策定に携わった関係者

地 域：八千代台東町会、八千代台地区自治会連合会、八千代台まちづくり協議会、八千代台まちづくり合同会社、元八千代台東第二小学校長、ワークショップ参加者
 専門家：日本大学理工学部まちづくり工学科 岡田智秀教授、同 岡田研究室学生
 八千代台まちづくりマネージャー 熊谷慎一氏
 行 政：八千代市（総合企画課、資産管理課、都市計画課）



八千代台東第二小学校 跡地整備基本計画の概要



～多様な世代・多様な利用者が満足できる空間～

平 時：地域住民の憩い・交流の場、地域の魅力発信の場、
地域活性化につながるイベントスペース

災害時：一時避難場所、応急仮設住宅用地、ペット避難場所など
地域の防災拠点となる施設

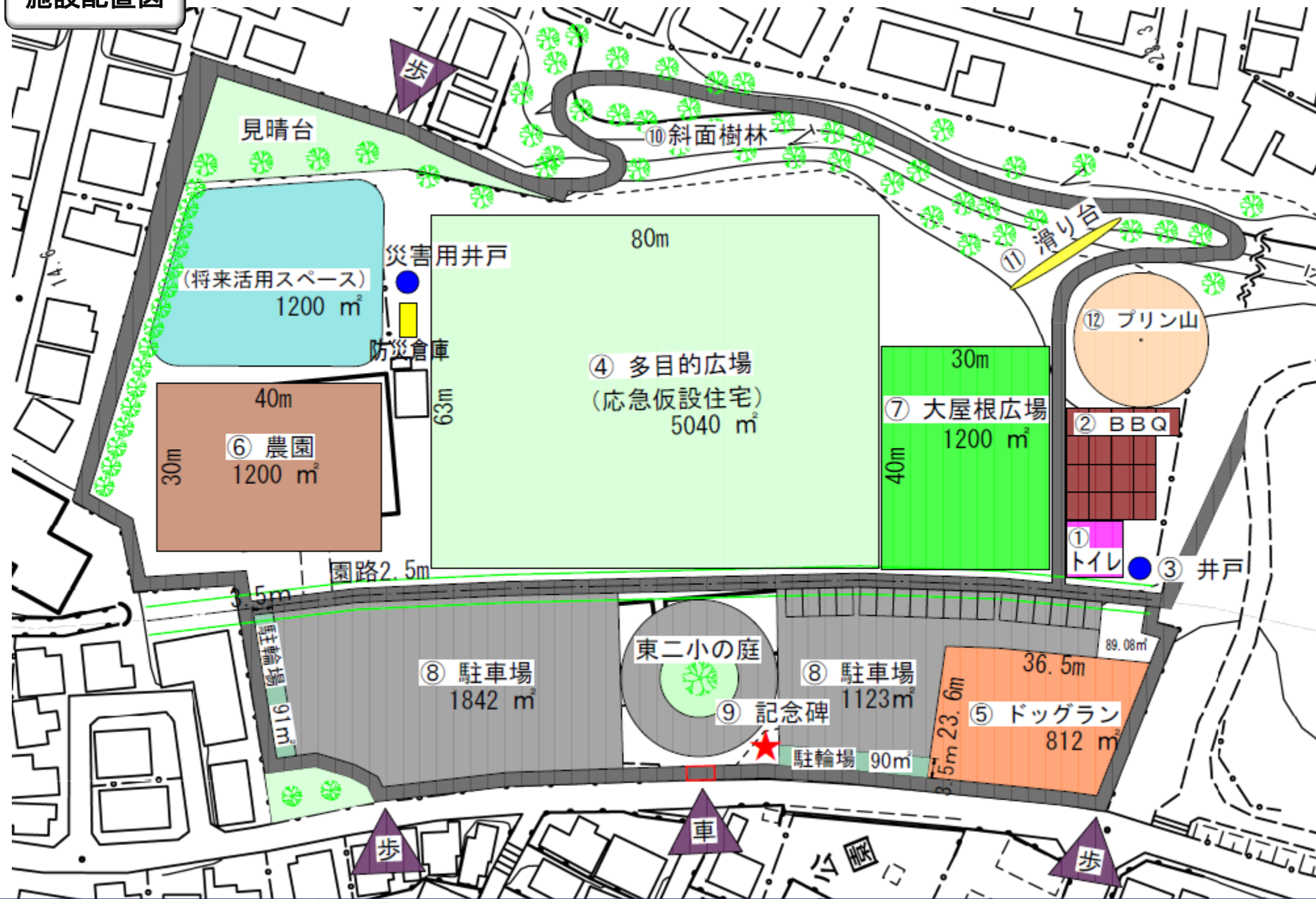
平成 31 年(2019 年)3 月



千葉市側からも出入り可能な

防災機能を備えた八千代台東地区の地域活性化施設

施設配置図



主な導入施設のイメージ

※ 画像はイメージです

① トイレ



多目的トイレに防災倉庫を併設
下流の下水道管破断時には地下貯留式に切替

② バーベキュー場



BBQ場として常設かまどを設置
災害時は、炊き出し場として使用

③ 井戸



手押し井戸を掘削
水道管破断・停電時の水を確保

④ 多目的広場



イベントやスポーツが可能な芝生広場
災害時の一時避難場所・応急仮設住宅用地

⑤ ドッグラン



市内で唯一のドッグラン
災害時は、ペット避難場所として使用

⑥ 農園



貸し農園で野菜の収穫
災害時は、食材の確保

⑦ 大屋根広場



暑さや急な天候変化も安心な大きな屋根
災害時は、避難場所・支援物資保管・荷捌き場

⑧ 駐車場



イベント時も安心な大駐車場
災害時は、車中泊に対応

⑨ 記念碑



東第二小が存在したことの記念として設置
校歌や校章などを刻む

⑩ 斜面樹林



開校以前から存在する貴重な緑を残す
鳥や昆虫が多く見られる

⑪ 滑り台



過去にジャンボ滑り台が存在
小さな子供も楽しめる

⑫ プリン山



東二小のシンボルとして残す
頂上まで登ると以外に高い！

- 上記のほか、防災四阿及び照明灯(太陽光発電)を設置する。
- 既設の災害用井戸、防災倉庫は継続して使用し、校舎・体育館・プールは解体する。

※ 施設配置検討後、污水管がグラウンドに埋設されていることが判明したため、配置を見直す必要がある。